

|   | 質問   | 回答  |
|---|--|---|
| 1 | <p>無筋の布基礎に鉄筋コンクリートの布基礎抱き合せ補強と認定工法炭素繊維シートで補強した金額を比較した場合どの程度違うものでしょうか。<br/>わかる範囲で参考に教えて頂きたいと思います。</p>    | <p>工事状況や内容にもよりますが、相場としまして布基礎抱き合せ補強は約6～8万円/m、認定工法炭素繊維シート・グリッド等では約4～5万円/mとなりますので、およそ2～3万円の違いになります。</p>  |
| 2 | <p>耐震補強工事柱を新設して筋違を入れる時、柱はほぞ差し出来ませんがN値計算で出た金物だけの補強で良いですか。<br/>柱の上か下どちらかはほぞ差しは出来ますが、するとすればどちらが良いですか。</p> | <p>柱を新設し筋かいを設ける場合には、柱脚部に所要の応力が伝達できる性能を確保する必要があります。柱脚部は地震時の筋かいからの引張力に加えて、せん断力も伝達する必要がありますので、柱と土台接合部には引張用金物に加えて、せん断力を伝達する金物が必要です。（通常はホゾがせん断力伝達の役割をはたします。ホゾ差しは上下行う必要があります。）具体的には柱交換用パイプコーナー、後施工金物などがあります。<br/>なお、引張力が大きい場合には基礎と直接アンカーボルトに緊結する必要があります、あと施工アンカーなどによる補強も必要となる場合があります。</p> |
| 3 | <p>補助金申請の流れと申請時期を教えてください。</p>  | <p>補助金申請後、補助金交付決定通知を交付します。補助金の交付決定以前に耐震改修工事等の契約を締結した場合には、補助金を交付できませんので、契約を締結する前に補助金交付決定を受けてください。<br/>なお、受付窓口は各市町村になりますので、具体的な受付開始日等は市町村へ問い合わせください。</p>  |